

株主優待制度

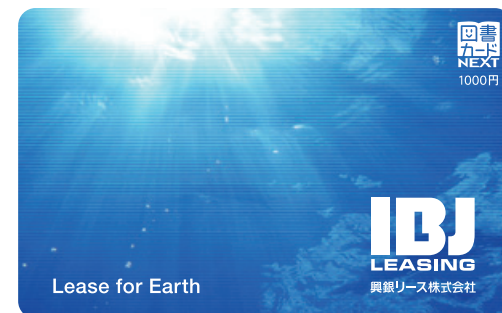
株主の皆様からのご愛顧に感謝し、以下のとおり株主優待制度を導入しております。

基準日	毎年3月31日
株数	100株以上
優待内容	一律3,000円相当の図書カードを贈呈

連続2期以上保有の場合*

基準日	毎年3月31日
株数	100株以上
優待内容	一律4,000円相当の図書カードを贈呈

*連続保有期間2期以上の確認は、基準日（毎年3月31日）の株主名簿に、前期末と同一株主番号で連続して記録された株主様といたします。



株主の皆様に贈呈した図書カードです。

株主の皆様の 声をお聞かせ ください

株主様向け
アンケート

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。


下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 8425

 空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

 ※本アンケートは、株式会社 a2media (イー・ツー・メディア) の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com



IBJ LEASING

第49期 年次報告書

2017年4月1日~2018年3月31日

興銀リース株式会社

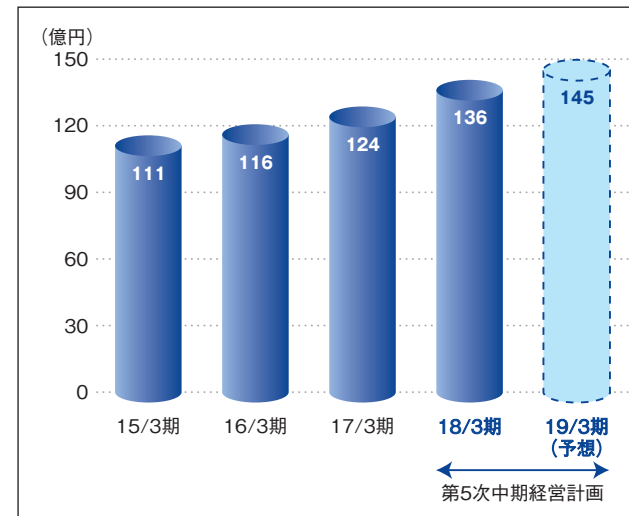
目次

決算ハイライト	1
株主の皆様へ	2
事業の概況	3
連結財務諸表	6
会社概要/株式の状況	9
株主優待制度	裏表紙
株主様向けアンケート e-株主リサーチ	裏表紙

— 1 —
**親会社株主に帰属する
 当期純利益は、
 5期連続で最高益達成**
 5次中計初年度は順調なスタート

— 2 —
**期末配当金を当初予想から
 4円上方修正**
**年間配当金は6円増額の70円と
 16期連続で増配**

親会社株主に帰属する当期純利益



第5次中期経営計画
 (2017~2019年度)

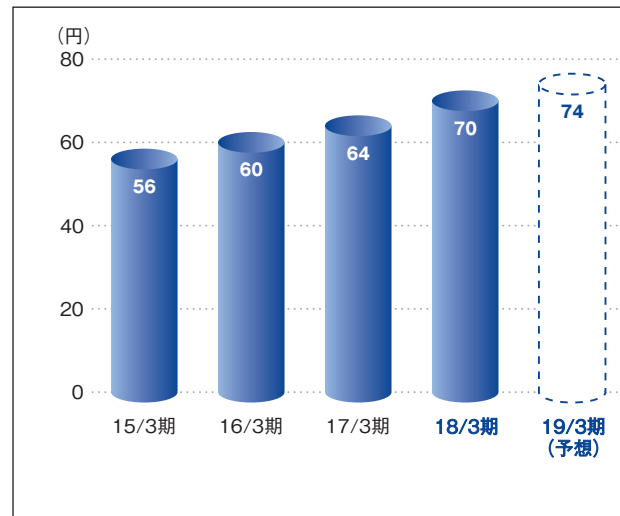
— 2019年度 数値目標(連結) —

親会社株主に帰属する当期純利益 150億円

ROE 10%

配当性向 20%以上を維持

1株当たり年間配当金



代表取締役社長 本山博史

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
 2017年度の経済環境は、世界経済は米国・欧州経済の着実な拡大やアジア経済が底堅く推移したこともあり、緩やかな拡大基調で推移しました。わが国経済については世界経済の影響もあり緩やかな回復傾向が続き、企業収益の改善などを背景に設備投資は安定的に推移いたしました。

こうした状況のなか、当社グループは今年度より、2019年度を最終年度とする第5次中期経営計画をスタートいたしました。この計画では「お客様と共に挑戦を続ける、価値創造カンパニー」をビジョンとし、これまでに蓄積されたビジネスノウハウ・財務体力を活かして、既存のビジネスラインに加え、より収益性の高いビジネスを積極的に推進することを掲げております。

初年度となる2017年度は、新しい領域への挑戦や中期経営計画に掲げる取り組みの推進など、さらなる成長に向けた戦略を着実に実行した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は136億円と5期連続で最高益を達成いたしました。

2018年度については、最終年度の目標達成およびその先を見据えた当社グループのさらなる飛躍に向けた重要な年度であると考えております。引き続き、中期経営計画で掲げる戦略を推進し、お客様のニーズを的確に捉え、得意とする財務ソリューションに加え、金融の枠を超えた新たな事業領域へ挑戦していくことで、お客様と価値を創造してまいります。

また、当社グループは、全てのステークホルダーからの信頼と期待にお応えするため、企業の社会的責任（CSR）を事業運営の基本に据え、持続的な社会の実現と企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株主還元

当社は、株主の皆様に対する利益還元については、収益力の向上を図りつつ業績に応じた配当を実施することを基本方針としております。また、同時に、株主資本の厚みも企業価値を向上させるうえで重要な要素であると考え、株主の皆様への利益還元と株主資本充実のバランスにも十分意を用いて対応しております。

配当金 2018年3月期
 1株当たり年間配当金 70円(前期比6円増)
 (中間32円 期末38円)

株主優待 基準日 毎年3月31日
 100株以上 図書カード3,000円相当
 100株以上・連続2期以上 図書カード4,000円相当
 詳細は裏表紙をご覧ください。

営業状況

2017年度は第5次中期経営計画で掲げるビジネス戦略および注力分野への取り組みを推進し、お客様の事業活動全体を捉えた付加価値の高い提案営業を行うことで、大企業・中堅企業を中心としたお客様の設備投資や事業活動の推進に資する取り組みが伸びました。

従来から強みを有する製造業や内需型産業に対するコアビジネスでは、お客様の仕入れや製品の販売の

流れに着目した商流介在型ビジネスにより大口案件を成約するとともに、不動産分野では社会的ニーズが高まる保育施設およびホテルを対象とした不動産リースで初めての実績を計上いたしました。さらに、この分野では有力な事業者と連携し、これまでの物流・商業施設に加え、製造工場や海外不動産を対象とした取り組みを開始いたしております。

同時に、日本の社会構造・産業構造の変化にともないビジネスの拡大が期待できる分野へも注力いたして

おります。環境・エネルギー分野では、補助金を活用したビジネスの推進に加えて、大規模風力発電所設備のリース^{※1}などエネルギー事業への取り組みが伸び、取り扱いが大きく増加いたしました。医療・ヘルスケア分野では、医療機器を対象とした取り組み^{※2}に加え、介護用車両のリースなど医療機関が手掛ける事業の広がりに対応したビジネスを拡大させております。グローバル分野では、タイ・インドネシアで現地財閥系企業との取引拡大や中国での医療機関向けリースの伸長

など非日系企業への取り組みを強化しております。また、航空機ビジネスでは蓄積したノウハウを機体担保ローンへの取り組みに活かし、営業資産残高を着実に増加させております。

以上の結果、契約実行高は前年度比22%増加の13,359億円となり、営業資産残高は前年度末比5%増加の16,830億円となりました。

※1 大規模風力発電所設備のリース

再生可能エネルギー事業への取り組み

再生可能エネルギーの導入は、エネルギー源の多様化や低炭素社会の実現による地球温暖化対策の推進等を目的にその普及が促進されており、当社グループは第5次中期経営計画において、環境・エネルギー分野を注力分野と位置付けております。

コスモエネルギーホールディングス株式会社さまのグループ会社であるエコ・パワー株式会社さまは、日本初の風力発電専門会社として発足した業界のパイオニアとして、日本全国で風力発電事業に取り組んでおります。当社はエコ・パワーさまが運営する風力発電所3サイトで使用される風力発電機19基（発電能力43,600kW）について年間を通じてリースを実行することで、再生可能エネルギー事業の推進に貢献しております。



※2 医療機器を対象とした取り組み

世界初の4wayハイブリッド手術室へのメンテナンスリースの取り組み

医療分野は高齢化社会の進行等社会構造の変化に伴い、ますますその重要性を増しており、当社グループは第5次中期経営計画において医療・ヘルスケア分野を注力分野と位置付けております。

当社は、社会医療法人財団石心会さまが運営する埼玉石心会病院が導入した世界初^{※1}の4wayハイブリッド手術室（以下「ニューロカルテット手術室^{※2}」）の設備について、シーメンスヘルスケア株式会社さまと共同でメンテナンスリースを実行いたしました。

埼玉石心会病院は病床数450床を有し、埼玉県西部医療圏の中核病院として地域医療を支えております。ニューロカルテッ



ト手術室は、従来の外科手術機器に加え、血管撮影装置、コンピュータ断層撮影装置（CT）、磁気共鳴画像診断装置（MRI）を配置することで、高精度で低侵襲な治療を迅速に行うことができます。当社はこれらの血管撮影装置、CT、MRIについてメンテナンスリースを提供しております。

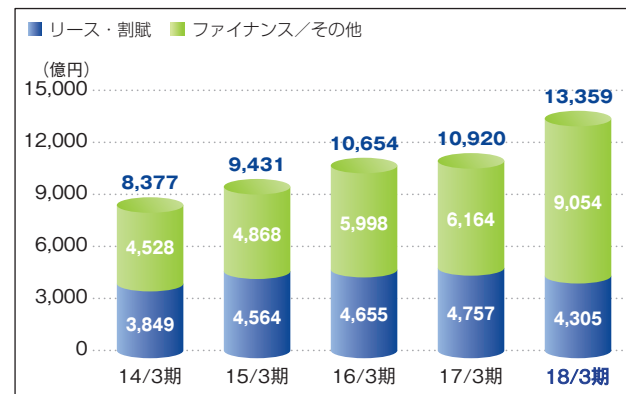
※1 シーメンスヘルスケアさまの市場調査による。

※2 国内最多クラスとなる4種類の治療診断機器が連携しながら脳神経手術を行えるため、「ニューロ（脳神経）カルテット（四重奏）」と呼称。

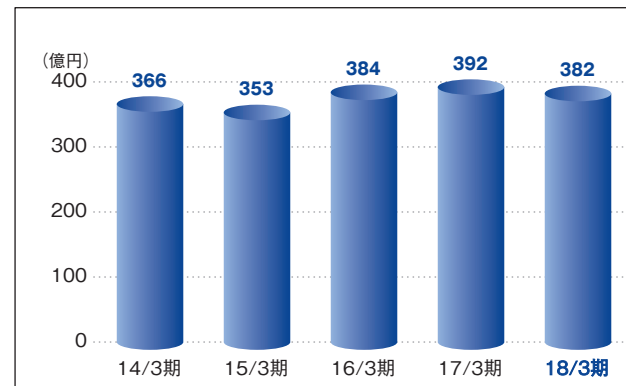
損益状況

損益状況につきましては、売上高は前年度（2016年度）に不動産の賃貸満了物件の売却が重なったこともあり、前年度比7%減少の3,997億円となりました。売上総利益は前年度比で差引利益（資金原価控除前の売上総利益）が増加しましたが、グローバル分野での取り組

契約実行高

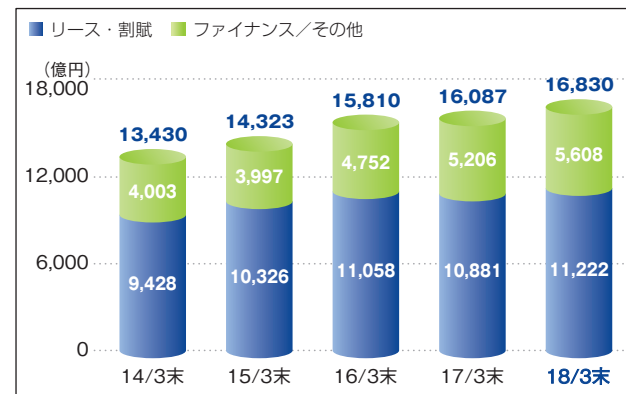


売上総利益

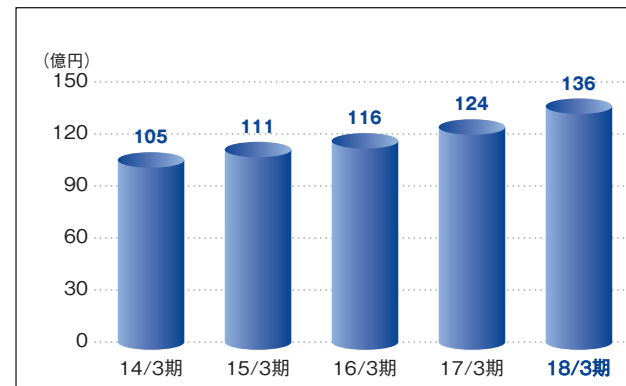


み伸長による外貨借入の増加等により資金原価が増加したことから、同3%減少の382億円となりました。経常利益は前年度に発生した信用コストの負担が無かったことから同6%増加の200億円、親会社株主に帰属する当期純利益は同10%増加の136億円となりました。

営業資産残高



親会社株主に帰属する当期純利益



連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	(2016年4月1日から 2017年3月31日まで)	(2017年4月1日から 2018年3月31日まで)
売上高	429,405	399,738
売上原価	390,198	361,541
売上総利益	39,206	38,197
販売費及び一般管理費	21,244	19,034
営業利益	17,962	19,162
営業外収益	1,229	1,171
営業外費用	402	369
経常利益	18,789	19,964
特別利益	266	586
特別損失	201	16
税金等調整前当期純利益	18,854	20,535
法人税、住民税及び事業税	5,864	5,380
法人税等調整額	374	984
当期純利益	12,615	14,169
非支配株主に帰属する当期純利益	201	526
親会社株主に帰属する当期純利益	12,414	13,643

POINT
5期連続で最高益を達成しました。

用語解説
①差引利益：資金原価控除前の売上総利益。営業資産から得られる受取利息や手数料等の収入に相当。
②資金原価：営業資産に見合う有利子負債(借入金、CP等)に対する支払利息。

* 売上総利益の増減要因

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	(2016年4月1日から 2017年3月31日まで)	(2017年4月1日から 2018年3月31日まで)
差引利益 ①	44,904	45,157
資金原価 ②	5,697	6,959
売上総利益 ①-②	39,206	38,197

POINT
差引利益は着実に増加いたしました。一方で、グローバル分野での取り組み伸長による外貨借入の増加等により、資金原価も増加いたしました。

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	前期末 (2017年3月31日)	当期末 (2018年3月31日)
[資産の部]		
流動資産	1,566,603	1,604,039
現金及び預金	42,326	30,337
割賦債権	138,089	138,851
リース債権及びリース投資資産	809,304	823,384
営業貸付金	205,206	230,405
その他の営業貸付債権	139,749	125,538
営業投資有価証券	172,493	196,860
その他の営業資産	3,130	4,130
繰延税金資産	1,874	1,595
その他	57,559	55,203
貸倒引当金	△3,130	△2,265
固定資産	185,681	217,462
有形固定資産	144,211	174,714
貸貸資産	141,225	165,959
社用資産	2,986	2,992
無形固定資産	4,189	4,315
貸貸資産	101	105
その他の無形固定資産	4,087	4,209
投資その他の資産	37,280	38,432
投資有価証券	28,248	30,039
破産更生債権等	3,331	2,440
繰延税金資産	975	631
その他	5,068	5,491
貸倒引当金	△343	△171
資産合計	1,752,284	1,821,501

POINT

5次中計で掲げる営業戦略を着実に実行し、営業資産は増加いたしました。

(単位：百万円)

科目	前期末 (2017年3月31日)	当期末 (2018年3月31日)
[負債の部]		
流動負債	1,045,764	1,082,143
短期借入金	312,715	270,743
一年内償還予定の社債	—	20,000
一年内返済予定の長期借入金	155,509	182,054
コマーシャル・ペーパー	433,800	453,800
債権流動化に伴う支払債務	59,180	63,621
その他	84,558	91,924
固定負債	564,764	584,725
社債	58,000	38,000
長期借入金	455,312	466,824
債権流動化に伴う長期支払債務	17,919	41,196
その他	33,532	38,704
負債合計	1,610,529	1,666,869
[純資産の部]		
株主資本	128,279	139,092
資本金	17,874	17,874
資本剰余金	16,086	16,070
利益剰余金	94,319	105,148
自己株式	△1	△1
その他の包括利益累計額	8,292	9,859
その他有価証券評価差額金	8,036	9,047
繰延ヘッジ損益	24	141
為替換算調整勘定	348	621
退職給付に係る調整累計額	△116	48
非支配株主持分	5,183	5,681
純資産合計	141,755	154,632
負債・純資産合計	1,752,284	1,821,501

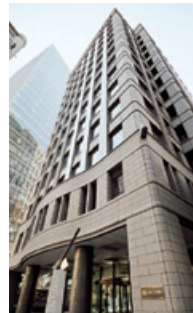
POINT

株主資本は利益の積み上げにより増加いたしました。

会社概要 / 株式の状況

会社概要 (2018年3月31日現在)

商号 興銀リース株式会社
 本社所在地 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-6
 TEL 03-5253-6511 (代表)
 設立 1969年12月1日
 資本金 178億7,419万円
 従業員数 連結1,081名 単体621名
 事業内容 総合金融サービス業



役員 (2018年6月26日現在)

取締役
 * 取締役社長 (代表取締役) 本 山 博 史
 * 取締役副社長 (代表取締役) 長 津 中 克 司
 * 専務取締役 (代表取締役) 倉 津 仲 伸
 * 常務取締役 丸 山 伸 一郎
 * 常務取締役 濱 本 真 矢
 * 常務取締役 上 田 晃 夫
 取締役 (社外取締役) 小 峰 隆 夫
 取締役 (社外取締役) 桐 山 正 康
 取締役 (社外取締役) 杉 浦 康 之

(注) * の取締役は執行役員を兼務しております。

監査役
 常勤監査役 (社外監査役) 形 山 成 朗
 常勤監査役 (社外監査役) 宮 口 丈 文
 監査役 (社外監査役) 高 野 橋 真 一
 監査役 (社外監査役) 野 口 亨

執行役員
 常務執行役員 湯 川 則 之 吉 田 勝 彦
 山 口 弘 信 釜 田 英 彦
 若 杉 国 元 乘 松 哲 也
 藤 木 靖 久

執行役員 上 水 敏 行 篠 幸 造
 村 富 芳 折 佐 橋 泉
 時 安 千 佐 々 木 浩
 石 坂 敏 和 小 谷 田 弘 道
 大 原 高 昇 街 美 風 朝 雄
 木 村 満 之 靖 美 尾 邦 博

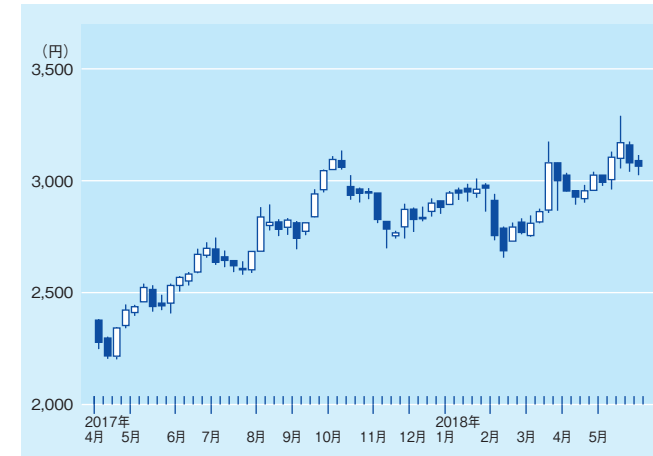
営業拠点 (2018年3月31日現在)

本社 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-6
 TEL : 03-5253-6511 FAX : 03-5253-6501
札幌支店 〒060-0001 札幌市中央区北一条西5-2
 TEL : 011-231-1341 FAX : 011-231-5727
仙台支店 〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-4-1
 TEL : 022-223-2611 FAX : 022-266-9556
首都圏営業第二部 〒330-0845 さいたま市大宮区仲町2-65-2
 TEL : 048-631-0751 FAX : 048-631-0754
新潟支店 〒951-8061 新潟市中央区西堀通六番町866
 TEL : 025-229-7800 FAX : 025-229-7741
富山支店 〒930-0004 富山市桜橋通り5-13
 TEL : 076-444-1080 FAX : 076-444-1083
静岡支店 〒420-0857 静岡市葵区御幸町5-9
 TEL : 054-205-3330 FAX : 054-205-3331
名古屋支店 〒460-0003 名古屋市中区錦1-11-11
 TEL : 052-203-5891 FAX : 052-203-9025
京都支店 〒604-8152 京都市中京区烏丸通錦小路上手洗水町659
 TEL : 075-223-1545 FAX : 075-223-1571
大阪営業部 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-1-1
 TEL : 06-6201-3981 FAX : 06-6222-2541
神戸支店 〒650-0034 神戸市中央区京町69
 TEL : 078-392-5440 FAX : 078-392-5441
広島支店 〒730-0031 広島市中区紙屋町2-1-22
 TEL : 082-249-4435 FAX : 082-249-8232
高松支店 〒760-0017 高松市番町1-6-8
 TEL : 087-823-7321 FAX : 087-823-7324
福岡支店 〒810-0001 福岡市中央区天神1-13-2
 TEL : 092-714-5671 FAX : 092-715-0553

株式の状況 (2018年3月31日現在)

発行可能株式総数 140,000,000株
 発行済株式の総数 42,649,000株
 株主数 41,614名

株価推移 (週足)



大株主 (上位20名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
第一生命保険株式会社	2,930	6.87
日産自動車株式会社退職給付信託口座 信託受託者 みずほ信託銀行株式会社 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	1,750	4.10
株式会社みずほ銀行	1,626	3.81
ユニゾホールディングス株式会社	1,546	3.62
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,393	3.26
明治安田生命保険相互会社	1,251	2.93
DOWAホールディングス株式会社	1,120	2.62
新日鉄興和不動産株式会社	975	2.28
共立株式会社	949	2.22
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友 信託銀行再信託分・株式会社東芝退職給付信託口)	900	2.11
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	895	2.09
株式会社SUBARU	720	1.68
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	708	1.66
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	692	1.62
東ソニー株式会社	684	1.60
RBC ISB S/A DUB NON RESIDENT/ TREATY RATE UCITS-CLIENTS ACCOUNT	675	1.58
株式会社クレディセゾン	670	1.57
株式会社滋賀銀行	670	1.57
飯野海運株式会社	666	1.56
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	540	1.26

主要グループ会社 (2018年3月31日現在)

IBJL東芝リース株式会社 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-6
 TEL : 03-5253-6700
第一リース株式会社 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-6
 TEL : 03-3501-5711 FAX : 03-3501-5748
興銀オートリース株式会社 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-6
 TEL : 03-5253-6800 FAX : 03-5253-6805
ユニバーサルリース株式会社 〒104-0054 東京都中央区勝どき6-5-3
 TEL : 03-3536-3981 FAX : 03-3536-3892
ケイエルリース&エステート株式会社 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-6
 TEL : 03-5253-6833 FAX : 03-5253-6834
ケイエル商事株式会社 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-6
 TEL : 03-5253-6835 FAX : 03-5253-6837
ケイエルオフィスサービス株式会社 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-6
 TEL : 03-5253-6840 FAX : 03-5253-6839

十八総合リース株式会社 〒850-0841 長崎県長崎市銅座町4-18
 TEL : 095-822-1171 FAX : 095-826-8860
興銀融資租賃(中国)有限公司 中国(上海・広州)
PT. IBJ VERENA FINANCE インドネシア
IBJ Air Leasing Limited パミューダ
IBJ Air Leasing(US) Corp. 米国
IBJ Leasing(UK) Limited 英国
Krung Thai IBJ Leasing Co.,Ltd. タイ
PNB-IBJL Leasing and Finance Corporation フィリピン